

「町村議会議員の議員報酬等のあり方・最終報告」と

「与良政談 ～どうなる日本！～」

10月30日、滋賀県6町の町議会議員を対象とした「令和元年度町議会議員研修」が、多賀町中央公民館多賀結いの森で開催された。第一部は、山梨学院大学法学部教授・江藤俊昭氏による「町村議会議員の議員報酬等のあり方・最終報告」についてであった。

町村議会議員の報酬等（報酬のほか定数を想定）課題分析の第一は、議員報酬の低さと議員定数の少なさが無投票当選につながり、無投票当選を避けるのであれば、議員報酬と議員定数を一定の水準に保たなければならない。続いて、全体の動向として、町村議会を取り巻く自治体民主主義に構造変容が生じようとしている可能性を示唆している。構造変容（仮説）の妥当性については、より長期にわたる定点観測調査によって分析が求められる。それぞれの自治体で報告書が提起する報酬等に基準を参考に再検討の必要

研修報告①

10月30日、滋賀県6町の町議会議員を対象とした「令和元年度町議会議員研修」が、多賀町中央公民館多賀結いの森で開催された。第一部は、山梨学院大学法学部教授・江藤俊昭氏による「町村議会議員の議員報酬等のあり方・最終報告」についてであった。



地域資源の足し算・掛け算で戦略を描く

森野 隆 議員

11月27日に「令和元年度彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会」が、彦根市立南地区公民館において開催された。講師は、合同会社フォーティ&C代表で、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏による「地方創生へ、今地域に求められるビジョンと戦略」と題し、またサブタイトルで「地域の宝探しとブランド化」をテーマに講演があった。



研修報告②

地域のブランド力を高めるには、地域資源そのものに価値を見出し、そこに魅力度、認知度そして情報接触度を絡めてブランド力にしていかなければならない。そして、地域（まち）のキラコンテンツを創り出さなければならず、地域ぐるみで、新たな観光市場を開拓し、地域連携で新たな滞在型ブランドづくりに取り組んでいかなければならないと考える内容の講演であった。

当町の観光を考えるうえで、参考となる研修会となった。

議会活動 目録



10/19 山川原地域総合センター改築工事完成式典（全議員出席）



10/31 町議会議員研修会（全議員出席）



11/10 明るい家庭・地域づくり推進大会（副議長出席）



11/27 彦愛犬市町議長会議員研修会（全議員出席）



12/7 社会福祉のつどい（議長出席）



1/5 消防出初式（議長出席）



1/12 新成人のつどい（議長・教民委員長出席）

創立70周年記念式典・

第63回町議会議長全国大会報告

議長 竹中 秀夫

新たな時代における町村議会のあるべき姿を求めて

全国の町村議会が一致団結し行動

11月13日、東京NHKホールで「創立70周年記念式典」および第63回町議会議長全国大会」が、町村議会関係者の出席を得て開催された。本町からは正副議長と議会事務局長が参加した。

昭和24年11月9日の創立から70周年を迎える大きな節目にあたり、地方議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与するとう設立目的を再認識するとともに、将来に向かって議会制民主主義の根幹をなす町村議会の機能強化を図っていくことが改めて宣言された。

また、大会は、「全国の町村議会の創意を結集し、我々町村議会が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため」を目的としている。

令和2年度の国の予算編成対策としての要望37件（地区要望9件含む）・町村議会のなり手不足対策としての重点要望・豪雪地帯の振興に関する要望8件が提案され決定した。

また、緊急かつ重要な課題として解決を図る特別決議が提案され決定した。

会場は熱気に包まれ、全国の町村議会が要求実現のために力を合わせることの重要さを肌で感じた。